



きびたきだより

ふくしまから はじめよう。福島応援隊

第54号

2020年11月1日

発行 東久留米市福島県人会



山歩会で第1回「東久留米市内の遺跡巡り」12名

県人会の会員さんから「東久留米市内の遺跡巡りを計画してね」という要望に応え、10月23日金曜日に第1回の遺跡巡り会を12名の参加で行いました。

9時30分東久留米駅西口のエスカレーター下に集合。今回の遺跡ツアーガイドは郷土歴史のスペシャリスト＝力久俊治さん。サポートに富塚健二副会長で古代縄文時代の歴史学習の会となりました。

駅西口から本町のパチンコ店をかるがも商店街から黒目川を渡る。小山の住宅街を抜けて小山台遺跡までゆっくり歩く。階段を登ると小山台遺跡跡が目の前に現れた。力久さんから史跡マップや案内チラシが配られ古代のロマンに浸りました。

遺跡から子の神社へは5分ほど。子の神社には「この～木何の木、気になる気になる・・・」というほどの大きな木。「むくろじ」の木にびっくり。そして県人会会員の小山實さんが植樹した「三春の滝桜」にご対面。急な階段を下りてゆっくり大圓寺境内へ。大圓寺は天台宗の寺院で1765年に建立した本堂で現在、本堂を立て替えている最中でした。ひっそりした境内の中で馬頭観音・石橋供養塔・庚申塚の説明を聞き、現地解散となりました。参加者のランチ希望の方と中華の「高庄亭」でビールとラーメンなどでご苦労さん交流会をしました。楽しかったです。〈宇津木〉

「素敵なふる里」会津坂下町

渡部栄子（清瀬市在住）

私のふる里は、2015年4月まで55年間、私を育ててくれた坂下町。『坂下のばか三里』と言われ、会津若松市・喜多方市・美里町（旧高田町）・柳津町すべてが約12kmの距離、会津盆地西部の田舎町です。また、皆様ご存知の故春日八郎の出身地で、記念館わきには別れの一本杉の歌碑と凜とした杉の木、地蔵様がお祀りされており、望む会津磐梯山と一面の四季折々に変化する田園風景、心身共に癒されたオアシスは、今でも鮮明に思い出されます。中でも、一番記憶に残るのは2011年3月11日東日本大震災一連の出来事です。3月15日防災無線の一斉放送は原発事故に伴い避難・被災者およそ500名を3ヶ所の避難所開設と共に受け入れるため、手持ちの毛布・バスタオル等の寄付を募るといふもので動揺するも、私は翌日からNPOの一員として支援にあたりました。同情ではなく共感する姿勢に心掛け、主に子育て世代や妊婦さんに関わり、ヒヤリングを基に親と子がストレス解消できるメニューを考える等、もう無我夢中！できる限りのネットワークを活用し関係団体が一丸となり、親子がリフレッシュできる機会を設けました。また、一方では片寄る物資の調整や新たな物資の調達を担当しました。その後、避難所は1ヶ月程で閉設、個々に借り上げ住宅や旅館、近隣の民宿へと転居され新たな一歩を見送らせて頂きつつ、これらの様々な経験は、私の貴重な財産となりました。のちに清瀬市に移住し仕事で家庭訪問をする機会も多くある中で、私のお国訛りを懐かしみ微笑む方も意外といらっしやいます。意識してなるべく標準語で、とは思っていますが・・・やはり無理の様です(;0;)

今は、秋の味覚「会津のみしらず柿」を心待ちに「素敵なふる里」に思いを馳せる日々です。



県人会に根っこを見つけた!

久保田幸子 (南町在住)

県人会は故郷の訛りを懐かしみ有名人の押し上げに協力するような要素を色濃く持っています。福島人は明治維新に情勢不利を知らながら会津若松城にこもったかたくなばかりの情熱と日本最初の原発事故に見舞われて故郷を守ると一言で結びついた確かなものを持っています。私は東京のど真ん中の生まれ育ち終戦時に3ヶ月に3軒の我が家を失った根無し草のような心の持ち主ですが広がる福島の空の青さと福島県人会の暖かさの中に自分の根っこを見つけたそんな存在です。

掬水亭・「天外天」中華料理で舌鼓〜グルメ会



10月23日、グルメ会として初めて西武園脇の多摩湖を眺望できる掬水亭・中華レストラン「天外天」でのランチ交流会を12名の参加で行いました。あいにくの雨模様の中、東久留米駅改札前に10時40分集合し電車を使い継ぎ、西武遊園地駅から5分ほど歩く。電車での小旅行気分です。小平駅では乗り換え電車が新型のドラえもん電車! 皆さん、大喜びでした。レストランでは目の前が多摩湖の湖水が大きく見え大感激でした。中華料理も次々出てきて大満足の交流会でした。

< **県人会販売コーナー** > 申し込みは090-5583-8347

県人会の事業維持にご協力! 宇津木までお申し込み下さい

●えごまドレッシング	1本	550円
●会津田舎みそ	1袋	700円
●桜枝岐そば	1袋	250円
●いぶりがっこ(Lサイズ)	1本	700円
●弥右衛門純米辛口(1升瓶)	1本	2420円
●弥右衛門純米辛口(4合瓶)	1本	1210円

東久留米及び近隣在住会員様限定 販売です

お正月用にいかがですか?

山歩会 第2回 東久留米の遺跡巡りのご案内

「山歩会」では12月8日(火)に第2回目の東久留米市内の遺跡巡りを企画しました。第2回は東久留米駅西口からバスに乗り、下里方面の本邑遺跡の辺りを散策するコースです。

日時 12月8日(火) 集合9:30

集合場所 東久留米駅西口エスカレーター前

持ち物 飲み物、帽子、常備薬、

交通費各自負担

体調に自信がない方はご遠慮ください。

●午前中、ゆっくり歩いての散策です。

参加希望者は必ず、宇津木までご連絡を!

< ☎ 090-5583-8347 >

サークル活動の紹介(11月)

◆小物づくりサークル

10月の例会は11月13日(金)です。

市民プラザ会議室 9時30分

問い合わせ 宮下千寿子先生 090-7208-4130

◆詩吟の会

定例会 毎月第1・2・4月曜日 9:30

会場 幸町 笹本先生別邸

問い合わせ 笹本一比古先生 090-3523-5231

◆山歩会

「東久留米の遺跡巡り」

12月8日(火) 9:30 東久留米駅西口集合

◆他のサークルはコロナ感染防止で休会中です。

新入会員の紹介(敬称略) 11/1現在

会員 **259人**に

氏名 出身地 お住まい

東久留米市福島県人会会報誌「きびたきだより」 第54号

発行人: 東久留米市福島県人会会長 神津知男

編集: 宇津木繁(事務局長) 影山正次(理事)

渡辺喜代司(理事) 富塚健二(副会長)

西館秀雄(理事) 御古静子(会計)

大橋政次(理事) 大矢由紀子(会計監査)

橋本勇雄(理事) 石井光男(理事)

佐藤成弘(理事) 草野実 荒木こずえ

福田行高

<連絡先: 宇津木・携帯 090-5583-8347 >